



2	火	ピヨピヨひろば
4	木	入園説明会(13:30~)
5	金	給食費振替日(3歳児以上)
9	火	交通安全教室(5歳児) 絵本の読み聞かせ(14:00~)
11	木	カレーの日
17	水	おべんとうデー/お別れ遠足
18	木	誕生会
19	金	避難訓練
23	火	お別れ会/お別れランチ
28	日	卒園式(11時~)



随分暖かくなりました。
三寒四温。
寒くなったり、暖かくなったり
少しずつ春が近づいています。

子ども達と散歩に行くと
梅の花が咲いていました。
一人ずつ抱き上げて
顔を近づけると
「いい匂い」と笑顔になりました。

残すところ一カ月で
年長さんは卒園です。
新型コロナウイルスにかき回され
一年が急ぎ足で去ります。

今月の予定の中から...

●入園説明会(4日)

・来年度入園予定の方の入園説明会が13時半からあります。16時過ぎまで駐車場が混み合う可能性がありますので、ご協力をお願いします。

●交通安全教室(9日)

・今回は5歳児のみの参加です。牛久第二小学校までの道のりを教職員の方と交通ルールを再確認しながら歩きます。

●カレーの日(11日)

・今年度最後のカレーの日! みんなで、野菜を切る音、保育室内の野菜の匂い、薪の音、煙の臭い等を五感で感じることを大切にします。

●お別れ遠足(17日)

・5歳児みんなでお谷第一公園までお弁当を持っていこうと思います。雨天の場合は、園内で「かくれんぼ」をします。

●誕生会(18日)

・3月生まれの子どもの待ちに待った誕生会です。「おたんじょうび おめでとう!」

●避難訓練(19日)

・毎月行う事で、避難訓練の意味や行動を学んできました。何事も日々の積み重ねが大事だとあらためて感じます。

●お別れ会・お別れランチ(23日)

・4歳児が会の進行をし、5歳児とお別れ会を行います。小さいクラスの子どもの達は、会には参加せず、プレゼントをする予定です。昼食は、ホールで4・5歳児ペアで昼食の買い物を買います。何をかうかは当日のお楽しみ! その後は卒園式に出席しない非常勤職員とお別れの時間を設けます。5歳児にとって特別な一日になると良いのですが...

●卒園式(28日)

・今年38名の子どもの達が卒園します。式は11時開始で、年長児として、年長児保護者のみの厳かな式となります。後日詳細をお知らせ致します。



☆お知らせ

☆今年度も、保護者会から三輪車やスクーター、絵本等を購入して頂きました。卒対の方からは、DVDつきの図鑑を卒園記念品として頂きました。いつもありがとうございます。

☆令和3年度日程についてのお知らせ

*入園式は4/3(土) 9時半開始です。

・新入園児のみの参加です。

※当日の土曜保育は行いません。

・進級児につきましては、後日新クラス毎に撮影をする予定です。

*令和3年度の保護者会総会は、書面決議で行う事を役員会で決定致しました。保育参観に関しては、平日にクラス毎に行う予定です。

子どもの嘘と大人の嘘

近頃は、真実をフェイクと言いつつ、嘘を本當のことのように思わせる世の中になつてゐる。民主主義の根幹である選挙も、自分が負けると、不正があつたと言いつつ、それが通らなると暴力に訴える。トランプも、ミャンマーの軍部も同じだ。日本の国会でも、嘘とゴマカシを繰り返して、不正をウヤムヤにして、いつの間にか逃げとおし、社会を惑わせ、政治不信を引き起こす。国を傷つけ、混乱させる。危険である。▼「子ども達は、純粹で嘘がないですよね」と言われる。いやいや、純粹ではあるが、嘘(?)はよくつく。しかし、人を傷つけたりはしない。害はない。むしろ楽しく、面白い。▼「僕のお父さんは白バイのおまわりさんなんだ。」と言つていたA君が一ヶ月もしない内に「僕のお父さんは消防車を運転しているよ。」と言う。「君のお父さんは、白バイのおまわりさんじゃないの?」と問うと、「消防署の人だよ」と平然としている。たしか、お父さんは白バイのお

まわりさんと言つていた筈だと思いつつ、私も少しボケてきたかなと心配になり、担任に「A君のお父さんは何している人なの?」と尋ねると「会社員ですよ」とのことだった。子どもは、その折々で、夢想したことを言つてしまうようだ。▼どこかに子ども達を連れていくと、決まつて話が大きくなる。竜の子山に行った時、B君が「僕、ここに3回来たことがあるよ。」と言うと、「僕は10回来た。」僕なんか100回も「僕は3万回来た。」と段々エスカレートしていく。たつのこ山からは、周囲が一望できる。遠くに筑波山が、近くに牛久大仏が見える。C君が「あつ、大バツだ」と指さし「お父さん、お母さんと大バツの上に登つたんだ」と自慢気に言つた。D君が「この間、あの大バツ、歩いてたよ」と言うとき、他の子たちも「僕も歩いてゐるところを見たことある」と、とんでもないことを言い出した。▼よくよく考えてみると、私も随分子ども達をだましてゐる。クリスマスのサンタにしる、豆まきの鬼にしる、本物に近づけてやつてゐる。サンタは、夢を壊さないように、徹底して本物を貫く。鬼は恐怖を引きづらないように、早目に正体を明かす。▼夢を現実に置き換え、お話を作り、楽しむことがある。宇宙探検の話は、映画で見た場面を思い出しながら、迫真のお話である。宇宙から見た地球のこと、宇宙遊泳での危険な場面、アメリカの砂漠に帰還するまでを話すと、子ども達は「僕も行つてみたい!」と心を弾ませる。そして、話している自分も、まるで本當に宇宙に行つた気分になる。▼大人の嘘は害になり、人を傷つけるが、子どもの(嘘?)お話は夢であり、希望である。私ももっと語り上手になつて、子どもと一緒に夢の世界を楽しもう。

理事長 浅田 精利

